

藍サポ通信～明日に向かって～に掲載されている写真は、本人又は保護者の同意を得て掲載しています。



語り部さんと過ごすひと時

毎月第一月曜日午後になにわ語り部の会の方が来て下さり、紙芝居、本等の読み聞かせをして頂いています。今回は12月という事で冬の季節をテーマにした本、紙芝居を読んでもらったり、クイズ(星を使った問題をしたり等、皆で盛り上がりました。そして、最後は皆で『赤鼻のトナカイ』を歌い、クリスマスの気分を味わいました。

今回は、なにわ語り部の会のみませんが、ひらのでの語り部活動を通して、感じたことを記事にして頂きました。(2面に続く)



「笑顔が広がって」

毎月第一月曜日午後1時に寄せていただくようになって、丸2年がたちました。

私たちは「なにわ語り部の会」というボランティアグループで、小・中学校、高校、図書館、各種福祉施設、幼稚園、保育園病院などにはなしや絵本の出前をしています。夏には、第21回なにわ大賞

の準大賞をいただきました。

「ひらの」の利用者の皆さんと初めて出会った頃は、絵本やおはなし？子どもやないで！という、かたい雰囲気を感じられました。でも、回を重ねるにつれて打ち解けて、楽しいものは楽しいでいいんだ！という笑顔に変わり、おもしろいなーという素直な思いがポーンと返ってくるようになったのです。長年続けていると、なぜかよくわかります。



上) 語り部さんと、クイズ中。

終わると、こうしたね、次はあれしようね、などと振り返りをし、一人ひとりの笑顔を思い浮かべながら、次回のための練習をしています。

ヘルパー日誌

美味しいランチを求めて

季節が進み、気温が下がったことで、暑くてできなかった野球やサッカーができるようになり、思う存分体を動かして楽しんでいられる方や、公園を散歩する方、季節に応じた服を買いに行く方、食欲の秋を堪能される方など、支援の内容もアクティブになっていきます。舞洲や長居のスポーツセンターで過ごされていた方も大きな公園で、「野球がしたい」と希望されることも増えています。外出先が変わることで、自然と昼食のメニューも変わってきます。今まで訪れたことがなかったお店に入ってみたり、注文したことがない料理にチャレンジすることもできます。利用者さんの希望を聞き取り、自分が持つ情報を全て使って選んだお店で、美味しく食べる

利用者さんの様子を見ていると、お店選びは、ヘルパーの腕の見せ所なんて思ってしまうます。(笑) ある方の外出では、焼き肉が好きと伺ったので、せっかくなら落ち着いたオシャレなお店を選択。選んだお店は、梅田のヒルトンプラザイーストにある「たちばな」さんで、ホテルランチ

にすることにしました。高級感のある店内でしたが、ランチのお値段はかなりリーズナブルです。トングを手を持ち、網にお肉をのせて、焼きあがるまでは、まだか、まだかと思われ、持ちきれない様子でした。いつもと違うお店に、楽しい雰囲気もプラスされ、とっても美味しいランチタイムを過ごすことができました。先ほど、昼食選びは、ヘルパーの腕の見せ所とは書きましたが、実際はインターネットの力がかなり大きいです(笑)



第二ひらのの活動を、にしいちカフェで取り上げて頂きました。

地域の方に私たちのことを知ってもらい、私たちは地域のことを知る

にしいちカフェは平野西一部町会で暮らす人たちの交流の場を作ることを目的に、毎月第3金曜日に開催されるカフェのことで、社会福祉法人藍くれよんのスペースを提供しています。第二ひらのも地域交流を目的にカフェに参加

しています。カフェでは、地域の方に話しかけて頂いたり、折り紙や、まちがい探し、紙芝居などに参加していくうちに、最初は緊張していた利用者の表情が、今では笑顔で地域の方との関わりを楽しんでいます。繰り返し参加する

みかんちぎりの作業工程を、カフェに参加して下さった方に、伝える利用者さん。



2018.11.16

なかで、職員、利用者との間でにしいちカフェで何か出来ないかなと話しようようになっていた時、第二ひらのの事を知ってもらえる機会を頂けることになりました。カフェ当日は、地域の方に事業所の場所を知って頂く為に、プロジェクトに地図を映し出して説明したり、作業や清掃活動のボランティア、自社製品の紹介もしました。利用者の一人もマイクをもって一生懸命自分たちの事業所の事を伝えていました。プロジェクトでの紹介を終えると、地域の方に、作業の一つでもあるみかんちぎりの作業工程を体験してもらいました。テーブルには、利用者も入って地域の方々にやり方を伝えていました。みかんの形に形成され、長くつながったプラスチックを切り離す作業は『くせになりそう』『ちぎる競争をしてみたい』などと楽しまれている様子が伺えました。自社製品についても、「すごい！上手」と言ってもらい、『祝い箸



プロジェクターを使った説明風景

袋』も皆さんと作りました。事業所の説明会や、作業体験に、たくさんの方に参加して頂き、作り方を覚えて帰ると言っていた方や、型紙の大きさを測って自宅でされると言っていた方もいらっしゃいました。最後には、地域の皆さんから「楽しかった！ありがとう」とおっしゃって頂けました。事業所の説明会や作業体験、祝い箸袋作りに参加した利用者さんも自分たちが中心となって、できたことに満足そうな表情を見せてくれました。

にしいちカフェに来られている地域の皆さん、ありがとうございます。今後とも、生活介護第二ひらのを、よろしくお願いいたします。

かわいいお化けがやってきた。



くれよんでは、今年もハロウィン週間を設け、土曜日には、社福と有限合同でハロウィンパーティーを行いました。各フロアの子ども達と一緒にフロアの飾りつけや、顔出しパネルを作成し、ハロウィンの雰囲気満載のフロアが出来上がっていました。また、セーラー服や、手作りサンダラスを使つてのコスプレや、タトゥーシールや、ボディメイク用のクレヨンなどを使つて自分の顔をお化けに変身し

たりして楽しんでいましたよ。土曜日には、グループに別れてのケーキ作りをしました。生クリームやフルーツ、トッピング、チョコレートなど同じ材料で作ったのですが、できあがったケーキは、グループ毎に个性的で、おいしそうなケーキが完成していました。みんなおいしそうに食べ終えると、その後のハロウィンクイズにも張り切つて参加していました。



変身完了です。

地域活動その①

地域との交流や連携を目的として、今回平野西保育所と東喜連保育園へ施設見学に行きました。両施設はくれよんの児童も利用していたということもあり、当時の話や、園長先生から障がいに対する思いや保育についての話を聞かせてもらいました。特に、平野西保育所には発表会にも招待していただき、保育士の児童との関わり方など学ぶことや、くれよんでも改めて取り組む事など日々の支援を振り返る機会となりました。

地域活動その②

くれよんに隣接する農地には松やみかんの樹が植えられており鉄線の柵も設けられているのですが、たばこやごみのポイ捨てが多く、農地の所有者の方もごみの対応に苦慮されていました。我々職員もこのことが以前より気になつており、清掃協力を申し出た

ところ、所有者の方からも「是非」とのお答えをいただき、今回、年末の大掃除のタイミングに職員で清掃活動を行いました。ごみの量は大型のごみ袋4袋分にもなり、空き缶やペットボトルが多くあるなか、成人用の使用済みの紙おむつが目立っていました。今回とても気になりました。今回の清掃活動を通して、地域の美化につながつただけでなく、何らかの生活課題が潜伏しているのではないかと、このことを考える機会となりました。



回収したごみ

